

令和3年度 学校運営に関するアンケート（評価）

《学校教育目標》 健康で豊かな心を持ち、自ら学び続ける平岡っ子の育成
 ～子供たちの未来を見据えた、自立して生きる力につながる教育の実践～
 《基本方針》 「知」「徳」「体」のバランスのとれた子供の育成をめざす
 《重点実践目標》 ◎自分からあいさつをしましょう ◎思いを言葉で伝えましょう 《めざす児童像》 ○よく考える子 ○助け合う子 ○たくましい子 ○やりぬく子

達成状況について アンケートのAとBを足した数を表記
 (Aあてはまる Bだいたいはまる Cどちらかというあてはまらない Dあてはまらない)
 評価について
 A・・・85%以上、B・・・84～60%、C・・・59～30、D・・・29以下 として評価

	重点目標	質問項目（児童・保護者アンケート）	達成状況		成果と改善の方策	総合	外部評価
○よく考える子	<ul style="list-style-type: none"> 協同的探究学習の推進 国語科を中心とした研究推進 新学習システムの効果的な活用 基本的な生活習慣の確立 	保 読み書き計算などの基礎学力は定着していますか。	A	88	○教師の指導力向上を図る職員研修、教材研究が充実したことにより、児童がわかりやすい授業展開ができた。 ○児童の主体的な学びを支える「夢ノート」の取り組み内容に改善を加えていく。 ○国語科を中心に協同的探究学習の研究を継続する。 ○家庭での読書習慣の定着を目指して、読書記録や読書週間活動を取り入れていく。 ○「家庭学習の手引き」を各家庭に配布するとともに、クロームブックを活用した計画的学習を推進していく。	B	○子供達の学習態度は大変落ち着いている。これからも授業内容の充実を期待する。 ○家庭に帰ってから、何を優先して取り組むかを考えさせることで、計画的に学習することにつなげてほしい。 ○読書習慣の定着に向けて、学校から意図的に子供達に読ませたい本を紹介していく工夫をしてはどうか。
		児 本を読むのは好きですか。	B	80			
		保 家庭での子どもの読書習慣は身につけていますか。	C	44			
		児 家で、計画を立てて勉強していますか。	B	77			
		保 子どもは、進んで学習していますか。	C	59			
		児 学校ですすんで勉強できていますか。	A	87			
		保 子どもは、学校の授業はよくわかっていますか。	A	86			
		児 授業はわかりやすいですか。	A	94			
		保 ICT教育が推進されていると思いますか。	B	74			
		児 クロームブックを使った学習は役に立っていますか。	A	93			
○助け合う子	<ul style="list-style-type: none"> 道徳科学習の充実 生徒指導の充実 異学年交流の推進 特別支援教育の推進 	保 子どもは、進んであいさつをしていますか。	B	78	○朝のあいさつ運動に、高学年が率先して取り組んだことで、あいさつをする大切さや意識が全校生徒に定着してきた。 ○道徳科の学習のみならず、学校生活を通して、学校外でも地域の方にあいさつできる道徳的実践力を育てる。 ○特別支援教育に対する理解を深め、年下をいたわり年上を尊敬する心を育てるための異学年交流を進める。 ○ねらいをもった学校行事を実施する。	A	○大きな声であいさつできている。(特に下校時) ○「いってらっしゃい」「おかえり」など、地域での声かけが6年間の子供達の成長を支えるものとなる。これからも続けていきたい。 ○コロナ禍であっても、運動会や音楽学習発表会、参観日など保護者等が参観できたことはよかった。
		児 先生や友だち、地域の人にあいさつをしていますか。	A	92			
		保 子どもは、思いやりの心や親切な態度が育ってきていると思いますか。	A	93			
		児 友だちと協力できていますか。	A	95			
		児 そうじの時間にいっしょうけんめいそうじをしていますか。	A	94			
		保 学校行事は工夫されていると思いますか。	B	81			
○たくましい子・やりぬく子	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なスポーツ活動の実践 「かがわウェルネス手帳」、県の動画サイトの活用 食育の推進 	保 学校は、子どもの健康や安全について配慮されていると思いますか。	A	88	○毎月、校内安全点検を実施して修繕箇所を把握し、迅速に対応した。トイレの洋式化も完了し、安全で清潔な環境づくりができた。 ○新型コロナウイルス感染症対策としてSSSを中心に引き続き消毒の徹底をする。感染に気をつけながら、児童の十分な運動量の確保を目指す。	A	○子供達はたくましく元気に育っている。 ○今後も、学校挙げて新型コロナウイルス感染症対策を実施してほしい。
		児 毎日、朝ごはんを食べていますか。	A	95			
		保 子どもは、何事もあきらめず最後までがんばっていますか。	B	80			
		児 最後まで粘り強くあきらめず、がんばれていますか。	A	88			
○安心・安全で地域とともにある学校	<ul style="list-style-type: none"> 段階的な防災訓練、防犯訓練の実施 「平岡小学校学校運営協議会」の充実 学校園連携ユニットの推進 学校日より、学年だよりの発行とホームページの適時更新による情報発信 「39メール」の活用 「学校支援ボランティア」の活用による地域連携推進 	保 子どもは、きまりを守って生活できていますか。	A	87	○全校集会や委員会の呼びかけを通して規範意識の醸成に取り組んだ。 ○ジェンダー意識の高まりに応じて、男女の制服を統一していくことで調整する。 ○学校からの情報発信ツールとして39メールを定期的に配信するなど、効果的に活用していく。	A	○学校からの情報発信の手段の一つとして39メールを使うことは有効だと思う。ホームページのアドレスを掲載しておけばアクセスがしやすくなる。 ○地域とのつながりが希薄になっているので、できる時にできる行事をしてほしい。
		児 学校のきまりややくそくを守っていますか。	A	95			
		保 学校の環境は整備されていると思いますか。	A	87			
		保 制服(ガウン)を男女統一のものとすることをよいと思いますか。	B	83			
		保 学校の様子は、家庭に知らされていると思いますか。	B	62			
○いのちを大切にす る教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止対策改善プログラム」の推進によるいじめの未然防止と早期発見・早期対応 道徳教育、人権教育の充実 確かな児童理解に基づいた生徒指導の推進---内面理解、情報の共有、不登校対策の徹底 「アセス」「教育相談」「こころの健康チェック」を活用した一人一人を大切にす学級経営の推進 各学年に応じた系統的な学習の実施 交通安全、インターネットトラブル防止、禁煙、防犯、薬物乱用防止の教室 特別支援教育 教育相談各コーディネータ、SC、SSWの積極的活用と関係機関との連携推進 	保 子どもは、学校へ行くのが楽しそうですか。	A	89	○教育相談が定着してきた。更に保護者との情報交換を密にするためクロームブックの機能も活用していきたい。 ○全国的な傾向として、不登校児童の増加があり、対策が求められる。児童が相談しやすい体制づくりを進めていく。	B	○月一回の教育相談で、保護者は学校に相談する機会が増えた。 ○どの先生も子供達にきちんと向き合っているが、自分の思いを言葉で伝えるのに難しさを感じる子供もいる。困った時相談できる学校づくりを望む。
		児 学校は楽しいですか。	A	88			
		児 自分の思いを言葉で伝えることができましたか。	B	84			
		保 学校は、子どものことで相談しやすいですか。	B	76			
		児 こまったときに、先生に相談しますか。	B	77			

